

第 184 回友の会 岩船寺から浄瑠璃寺 自然観察会

～当尾の里を歩く～

日時：2020年9月13日

場所：木津川市加茂町 岩船寺から浄瑠璃寺

天候：晴れ時々曇り

参加者：一般 33 名（内子供 4 名）スタッフ 20 名 合計 53 名



輪になって点呼、観察会スタートです

加茂駅発のコミュニティバスが 25 人乗りなので 1 台増便と、スタッフは自家用車で対応しました。

今回も新型コロナウイルスの感染防止策を踏まえて実施しました。

二十四節気では白露。夜に大気が冷え、草花や木に朝露が宿り白い粒のように光りはじめる頃。さあ秋を探しにと思っていたら、午前中、ところにより雷との予報でやきもきしましたが、傘の心配もない爽やかな 1 日となりました。



カラスウリ

観察に石仏にと楽しみながら、岩船寺から浄瑠璃寺のゆるやかな下り道を歩きました。岩船寺に向かって左手の道を進みますが、出発前に野菜の無人販売所が人気でした。

最初に迎えてくれたのはカクトラノオやキウイ、庭から逃げ出しているように見えます。在来種と区別がつかなくなったり、生育場所を奪ったり、交雑したりと色々問題になっています。育てる時には逃げ出さないように気を付けたいですね。

ウシノヒタイに似た葉のミゾソバは水気が好き。おそらく田んぼのあとでしょう。タデ科で花は蕎麦に似ています。

夜はスズメガにアピールしていたレースの花をしぼませ、カラスウリはウリ坊模様の実ができています。種子は大黒さんの木槌に似ているので、財布に入れておくとお金持ちになれるかな。

他の草木を覆い枯らすのでヤブガラシ。5 弁の花びらが落ちてしまっています。花盤は蜜が一杯で多くの昆虫を呼びます。古くなると

オレンジからピンク色に変わり、受粉すると丸い実ができるブドウの仲間です。

葉の下部の方が広いのはトキリマメ（上部が広いのはタンキリマメ）。アレチヌスビトハギの実がギャングのよう、日本のヌスビトハギは追いやられています。秋の七草のクズの花の香りにはうっとりしますがアメリカでは繁殖力が高いのでグリーンモンスターと呼ばれ侵略的外来種です。キツネノマゴ、ダイコンソウ、キンミズヒキ、クワクサ、アオミズ。上から見ると赤くて下から見ると白いミズヒキ。ヤブラン。ヤブムラサキの葉に触れて癒され、アラカシの大木があり葉を割いて遊びます。まだ小さなホオノキ。切通しのコ克蘭には実が成っています。葉が酸っぱくないウスノキ。突然木々の間にメタセコイヤの大木が見られ驚きました。葉に丸く切られたハキリバチの痕。色んな形の葉があるエゴノキ。触ると青く色が変わるイグチの仲間。イグチなのにヒダが。シロホウライタケ。ヤスデは触れても大丈夫、ムカデのように毒はなく、キノコを食べるそうです。シロハツ sp. は軸が太いベニタケの仲間。

チチタケの仲間。画鋲に似たビョウタケなど、キノコが多く見られました。もしもキノコがないと山はゴミだらけ。木のリグニンを分解して土に帰しています。「三体地蔵」を過ぎ、大きな葉のナラガシワ、カキ、テイカカズラ、センニンソウ。小豆の原種ヤブツルアズキなどを観察しました。みろくの辻の「弥勒磨崖仏」を見て、イタドリは白い花、カエデドコロの雌株は橙黄色の花。実が5裂しているのはツリバナ。ミズタマソウの水玉みたいな実。オノドコロ。ヤマコウバシなどが見られました。「わらい仏」と「ねむり仏」を過ぎて「唐臼（からす）の壺二尊」で昼食です。汗の匂いにつられてウラギンシジミが訪れ、水辺なのでオオシオカラトンボも来ました。食後は、店開きの時間です。

①したたかなツククサは、黄色の可愛い2つの雄しべ、じつはダミーで近づいた昆虫には目立たない3つの雄蕊で花粉をつけさせています。そして昆虫がいなくても花が閉じる時には雄蕊と雌蕊と一緒に丸まって自家受粉し確実に子孫を遺しています。

②切り口の綺麗な枝が付いて落ちているどんぐりで殻斗に穴が開いているのはハイイロチョッキリが産卵した証です。産卵は、まずどんぐりを選び、枝に少し切り目を入れ、殻斗に穴を開け、卵を1つ生み、殻斗の毛や削り屑などで穴を塞いで、枝を切り落とします。一粒産むのに長〜い時間をかけてなんて健気なんでしょう。愛しくなります。

③つる植物は他の物を体の支えにし、成長は細いつるで良いのでとても省エネで、素早く光が当たる所に出て葉を広げ光を独占します。できた藪により小動物が隠れる場所を提供しています。お互いを支え合って自然は繋がっているんですね。

ゲンノショウコ、コバギボウシ、アキノタムラソウ、イヌタデ、エノキグサ。カラムシについていたフクラスズメの幼虫をつつくと激しく体を揺らして威嚇します。「愛宕灯籠」でバス通りに出て、最後に「やぶの中三尊」を拝し、ハイチゴザサにシダの仲間のウチワゴケを観察して、浄瑠璃寺に到着しました。帰りは、急いでいる人と浄瑠璃寺を見てからゆっくり帰る人に分散してバスに乗り込んでもらいました。（前田）



ツククサ



ヤブツルアズキ



絵を見ながらの説明 とても分かりやすい！



店開き ツル植物がたくさん



ゲンノショウコ



触ったところが緑色に変化イグチの仲間 (右)



ヒメウラナミジャノメ



タマムシ



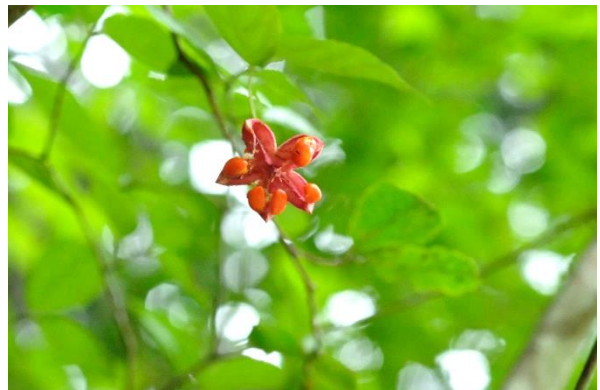
フケラスズメの幼虫



コバギボウシ



ミズタマソウ



ツリバナ



たくさんの地藏様、仏様に会いました